

紙切り作家 水口 千令さんとのコラボレーション企画 切り絵のグッズ・『大雄山線ものがたり』を販売

伊豆箱根鉄道株式会社(本社:静岡県三島市、代表取締役社長:伍堂 文康)は、静岡県伊豆市在住の紙切り作家 水口 千令さんとのコラボレーション企画として、4月29日(水・祝)より「イズーラ伊豆長岡」および「イズーラ修善寺」にて、水口 千令さんの切り絵作品をデザインした各種グッズや、神奈川県の小田原駅から大雄山駅を結ぶ当社大雄山線の100年を切り絵で表現した絵本『大雄山線ものがたり』を下記のとおり販売します。

記

- 販売場所
 - ・イズーラ伊豆長岡(伊豆箱根鉄道駿豆線伊豆長岡駅構内)
 - ・イズーラ修善寺(伊豆箱根鉄道駿豆線修善寺駅構内)
 - ・一部商品は、5月6日(水・祝)に大雄山線大雄山駅にて開催される「行くべーよ いずっぱこ 大雄 キッズ&ファミリーフェスティバル」および当社売店「道了尊売店」でも取り扱いします。
- 商品
 - アルファベット作品

販売期間	2026年4月29日(水・祝)～6月30日(火)	
仕 様	水口 千令さんが2025年に紙切りを始めて20周年を迎えたことを記念し制作したA～Zまでの26文字のアルファベットを用いた作品を商品化します。	
商品名・料金	①アルファベット 缶バッジ(全26種)	各300円(税込)
	②アルファベット マグネット(全26種)	各350円(税込)
	③アルファベット ミラー(全26種)	各400円(税込)



アルファベット作品(一例)

- 切り絵「ポストカード」(全9種)

販売期間	2026年4月29日(水・祝)より常時販売	
仕 様	水口 千令さんの人気作品を「ポストカード」にして販売します。	
料 金	各180円(税込)	



ポストカード(一例)

- 切り絵「ステッカー」

販売期間	2026年4月29日(水・祝)より常時販売	
仕 様	水口 千令さんの、紙切りをはじめた初期頃の作品をステッカーにして販売します。	
商品名・料金	①切り絵ステッカー	各500円(税込)
	②切り絵反射シール	各500円(税込)

- 切り絵の原画作品

販売期間	2026年4月29日(水・祝)より不定期にて販売	
仕 様	切り絵の原画作品を数量限定で特別販売します。 ※今後、月3点程度を販売する予定。4月29日は販売を予定しておりますが、今後の販売日については、当社や水口 千令さんの SNS 等でお知らせします。	
料 金	作品により異なります。	

(5)ゴールデンウィーク特別企画 絵本『大雄山線ものがたり』

販売期間 2026年4月29日(水・祝)～5月10日(日)
仕様 水口 千令さんが制作した神奈川県の大雄山線にて運行中の絵本電車に貼付してある切り絵作品「大雄山線ものがたり」を絵本にした全42ページです。

※現在、大雄山線小田原駅・大雄山駅、道了尊売店、大雄山最乗寺で限定販売している絵本をゴールデンウィーク限定、数量限定で販売します。

料金 【A4サイズ】1,800円(税込)

【A5サイズ】1,500円(税込)

※各サイズ限定15冊・なくなり次第終了



絵本表紙デザイン

3. 切り絵グッズをご購入いただいたお客さまへ特別バージョンの缶バッジをプレゼント

開催期間 2026年4月29日(水・祝)～5月30日(土)

開催場所 イズーラ伊豆長岡およびイズーラ修善寺

内容 店舗にて1,500円(税込)以上切り絵グッズをご購入いただいたお客さまへ、アルファベット缶バッジ(ホログラムバージョン)をブラインド形式でプレゼントします。

4. お問い合わせ

伊豆箱根鉄道株式会社 生活事業部観光課

TEL:055-977-1215(9:30～16:30 土休日を除く)

【参考】

■紙切り作家 水口 千令さんについて

はさみ一本・紙一枚の即興芸。こころの原風景をテーマにパフォーマンス・展示・挿絵・装飾・教育現場での「想像力を育むはさみの授業」を行っています。

年間40校以上 はさみで描く授業・キャリア教育講師・展示・記念作品制作・学校装飾を行われています。

■絵本電車「大雄山線ものがたり」について

絵本電車「大雄山線ものがたり」は、「伊豆箱根鉄道グループ“アニバーサリー2017～2020”」の企画として、水口 千令さんが制作し、2019年4月から大雄山線(小田原駅～大雄山駅)にて運行しております。

電車内に主人公「たろう」と大雄山線とのエピソードを、大雄山線の成り立ちや歴史などを交え、車両ごとに時代をわけて、絵本のように物語と挿絵(切り絵)をドア部分などに貼付け紹介しています。

1両目は大雄山線が開通した大正時代、2両目は戦争が終わり赤電を導入した昭和時代を、沿線ですらすら人々への思いや沿線の豆知識などを盛り込み紹介しています。そして3両目では、「たろう」の孫「ゆい」の代となった平成を迎え、令和や大雄山線開業100年に向けてのストーリーが広がっていきます。



絵本電車「大雄山線ものがたり」
車内の様子

以上